

【阪神淡路大震災から 30 年 1. 17 追悼行事】



阪神淡路大震災から 30 年を迎えた 1 月 17 日の朝、全児童が体育館に集まり追悼行事を行いました。その当時の様子を教師から児童に伝えるとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りして黙とうし、「幸せ運べるように」をみんなで気持ちを込めて歌いました。そのあと、4 年生が南海トラフ巨大地震に向けて防災、減災の視点から学んだことの中からみんなに知っておいてほしいことを伝えてくれました。次に、5 年生からは、能登半島地震から 1 年が経ちましたがなかなか復興が進んでいない現状を知って自分たちにできることを考え、募金活動を行うことを提案してくれました。保護者の皆さん、児童たちの募金活動にご協力くださりありがとうございました。私からの話では、児童みんながこの追悼の機会を通して、守って行動できるようになってほしい 2 つの約束をしました。一つ目は、落ち着いて行動し、「自分の命を自分で守ることのできる人」になること。二つ目は、人とのつながりを大切にする。こと。（普段の絆、人と人とのつながりが災害時お互いを助け合う行動に現れます。）災害は、いつくるかわかりません。その時、今回した約束が生かせるように願っています。



【今年も節分の時期になりました】



今年の節分（せつぶん）は、2 月 2 日（日）でした。節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日とされています。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。節分という言葉には、「季節を分ける」という意味があり、昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。そのため、春が始まる前の日、つまり冬と春を分ける日だけを節分と呼ぶようになったそうです。ちなみに暦（こよみ）の上で春が始まる日を「立春（りっしゅん）」（2 月 3 日ごろ）と呼びます。

